

2018年11月

日本臨床発達心理士会 大阪・和歌山支部会員各位

日本臨床発達心理士会 大阪・和歌山支部事務局

2018年度大阪・和歌山支部 研究会（1区分）のお知らせ

深秋の候、会員各位におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。以下の通り、2018年度大阪・和歌山支部主催研究会についてお知らせします。諸事ご繁忙のことと存じますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

2018年度 大阪・和歌山支部研究会

日時 2018年12月15日（土） 13:00～14:30（受付開始 12:30より）

会場 大阪教育大学天王寺キャンパス西館 第1講義室（大阪市天王寺区南河堀町4-88）
会場へは公共交通機関でお越しください。
JR/地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車 徒歩約10分、 JR 寺田町駅下車 徒歩約5分。
詳しいアクセス情報は http://osaka-kyoiku.ac.jp/campus_map.html#tennoji をご覧ください。

研修内容 「実践研究とその論文の書き方」（1.5時間 0.5ポイント）
科学者実践家モデルが主張されますが、心理士が国家資格化され、実践家は個人的な経験知ではなく公正な理論と方法に基づいて実践をし、なおかつ効果を厳しく吟味して世に問う不断の努力がますます要求されるようになりました。そこで心理支援に関する実践研究の方法について、カウンセリング等の事例研究、グループや学級等の集団指導効果研究、行動観察法、質問紙法などに分けて、実践効果を測る研究計画における留意点を講じた後、さまざまな実践効果の示し方を紹介します。次いで、実践研究論文のまとめ方として、事例研究としての要件、収集データの分類・整理法や、理論への当てはめ、先行研究との比較、論文構成などを解説します。

講師 鎌田次郎氏（関西福祉科学大学名誉教授）

研修会に参加される方へのご案内

・2017年度から、資格更新ポイントの管理は「会員情報管理システム」によることとなりますので、ノートのご持参は不要です。詳しくは、士会より送付された資料、士会HP（トップページ → 臨床発達心理士の方へ／最新のお知らせ → 会員登録情報・ポイント管理について）をご覧ください。

・事前参加申し込みは不要です。当日 ID証を受付にご提示ください。

・日本臨床発達心理士会年会費が未納の方は研修会に参加できません。万一、研修会当日までに未納（納金処理未了）であることが後日判明した場合、研修ポイントが無効になることがあります。その場合も下記参加費の返金はできません。

・支部研修会参加費500円を当日受付にて徴収させていただきます。釣り銭の要らぬようご用意ください。

・ID証をお持ちでない場合、10分以上遅刻された場合、10分以上早退される場合は、ポイント交付は行いませんので、ご了承下さい。

・研修会における写真撮影ならびに音声録音はお断りしています。退席をお願いすることもありますのでご注意ください。研修会の資料はご出席の方お1人に1部のみお渡しします。



日本臨床発達心理士会
大阪・和歌山支部事務局

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
大阪教育大学教育学部 小松研究室

E-mail: hanwa@jacdp-kansai.org

Web site: <http://www.jacdp-kansai.org/cn19/index.html>